

悲しい死を減らしたい、国境を越えて。



ロッキーカレッジ

国境なき医師団の活動について

世界の紛争地域や災害現場、感染症が広がる地域など、危機に瀕した人びとへ医療を提供する人道援助活動について紹介します。



写真：アフガニスタンで新生児を診療する加藤寛幸氏(2015年10月)

日時

4月14日(土) 14:00~16:00

会場

静岡労政会館 6階ホール (静岡市葵区黒金町 5-1)

講師

加藤 寛幸 氏 (特定非営利活動法人国境なき医師団日本会長・小児科医)

定員

300名 (申込先着順)

参加費
無料

お申込み
お問合せ

ライフサポートセンターしずおか中部事務所 (平日9時~17時)
TEL: 054-270-3963 FAX: 054-272-0014

*緊急援助活動への参加などの理由により、講演の延期または講師が変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

緊急事態へ迅速に、最良の医療を届ける。

国境なき医師団講演会



©Toshiya Abe

◆ 加藤 寛幸 氏 プロフィール ◆

国境なき医師団日本会長、小児科医。専門は小児救急、熱帯感染症。1992年島根医科大学卒業、タイ・マヒドン大学で熱帯医学ディプロマ取得。東京女子医大病院小児科で研修後、シドニーこども病院、長野県立こども病院、静岡県立こども病院などで集中治療、救急医療に従事。国境なき医師団には2003年より参加し、2015年3月より現職。2017年1月『週刊朝日』の「2017年を元気にする100人」に選ばれた。

国境なき医師団活動歴：

- 2003年 スーダン・ハルツームの孤児院での活動
- 2005年 インドネシア・アロル島において地震の救援活動
および麻疹予防接種活動
- 2005年 パキスタン北部地震緊急援助活動
- 2011年 東日本大震災緊急援助活動
- 2014年 南スーダン・アウェイルでの医療援助活動
- 2014年 シエラレオネにおけるエボラ出血熱対応
- 2015年 アフガニスタン・ホウストでの新生児診療
- 2016年 熊本地震緊急援助活動

国境なき医師団（MSF=Medecins Sans Frontieres）は、1971年にフランスで設立された非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体で、1992年に日本事務局が発足。活動資金のほとんどを民間からの寄付でまかなっており、独立・中立・公平な立場の原則に基づく人道援助活動が評価され、1999年にはノーベル平和賞を受賞。

お申込み
お問合せ

ライフサポートセンターしずおか中部事務所（平日9時～17時）

TEL：054-270-3963 FAX：054-272-0014

FAX：054-272-0014 【国境なき医師団の活動について 申込書】

ふりがな		性別	年齢	電話番号
お名前		男性 女性	歳代	
ふりがな		性別	年齢	電話番号
お名前		男性 女性	歳代	
【下記アンケートにご協力下さい】				
お住まい	市 ・ 町			
この講演会を何で知りましたか (チラシの場合は入手先)				
浜松での講演会に参加されましたか？(昨年11月25日開催)	はい ・ いいえ			

* お伺いした個人情報は、今回の講座運営にのみ使用いたします。

* ロッキーカレッジは、静岡県労働金庫の会員が拠出した「地域役立資金」を活用しています。

主催：(公財)静岡県労働者福祉基金協会 ライフサポートセンターしずおか事業部

後援：静岡市 静岡県教育委員会 静岡地域労働者福祉協議会 静岡県労働者福祉協議会 静岡県労働金庫
全労済静岡推進本部 ライフサポートセンター友の会